

En+Design 通信 第3号 2014.12.7

◎はじめに

皆さんこんにちは。今年もあっという間に、師匠も走る12月になってしまいましたね～！十日町はいよいよ雪の季節が近づいてきました。そして、このまちなかステージづくりもいよいよ佳境に入っています。ゴールはまだまだ先ですが、この長い冬の向こうにある「楽しいとおかまち」を目指して、皆さんと今後も試行錯誤していけたらと思っています！

今月のまちなかでの動き

◎「グンシツ」が、まちなかステージの予行練習場になっています！

これまでコモ通りの「グンシツ」には、青木事務所の笹田さんと竹内さんが交互に常駐していましたが、先月半ばからはお2人とも東京に本拠地を戻されました。

まちなかステージづくりの最先端基地としてだけでなく、みんなの寄り道スポットとして定着しつつあったグンシツ。このままシャッターが閉まったままでは寂しすぎる！もったいなさすぎる！と、いうことで…なんと、青木事務所さんからのご厚意で、青木事務所のお2人がいない間も市民活動の場としてグンシツを使わせていただけることになりました！！

さっそく11月には、グンシツにてたこ焼きパーティー・カレーパーティー・鍋パーティーが開かれました。食べてばかりみたいですね(^_^;)笑

皆さんでおいしいものを囲みながらあれやこれやと話も弾み、まちなか仲間（マチナカナカマ、早口言葉みたいですね。笑）の縁を深められました。まちなかステージづくりを通して知り合えた方々と、こんな風にWSから飛び出しても繋がれるのは本当に楽しいなあ～！と感じました。

14日には、「サンタさんにお礼のメッセージカードを贈ろう」というワークショップも計画されています。（詳しくは裏面の「◎今月の気になるあの人」に…）

「わたしもやってみたいことがあるわ～」「こんなことをやってみたい」「いつもの活動をグンシツでやってみたい」というそのあなた！基本的なルールを外さない限り、使い方はアイデア次第です。せっかくの機会ですので、どんどんまちなかステージ予行練習をしちゃいましょう（`v´）！



少しばかり面倒かもしれませんが、皆さんで楽しくグンシツを使えるようにルールを考えました。

【グンシツの使い方】

■グンシツに置いてある、利用確認シートの内容（電気消しましたか？カギは閉めましたか？など）を確認の上でご使用ください。

- ・グンシツノートに使用者名と活動内容等を記載してください。
- ・利用確認シートは記入後にシート入れに入れてください。

■皆さんの活動風景を記録に残しましょう。

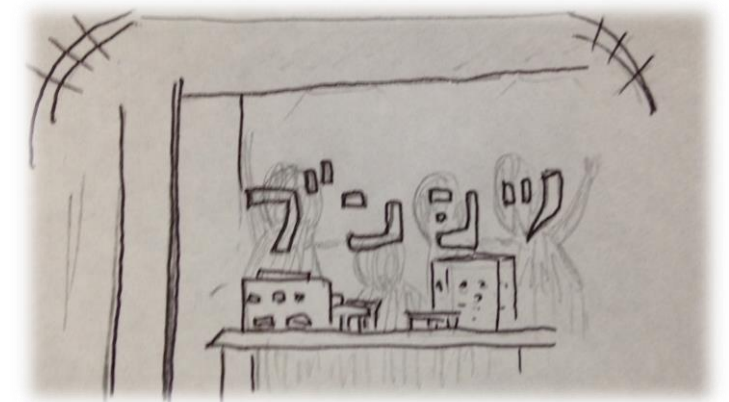
グンシツでの活動を記録するために、可能な範囲で構いませんので、動画・写真撮影にご協力よろしくお願いします。（動画や写真は活動記録として使用させていただく場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願いします）

- ・デジタルカメラや携帯などで15秒程度の動画を撮影してください。
 - ・デジタルカメラの場合、SDカードをグンシツに用意してありますので、そちらをご使用ください。
 - ・動画撮影が難しいという方は、写真でも構いません。
 - ・携帯で撮影していただいたデータは下記のメールアドレス、もしくはまちなかステージづくりのFacebookページにメールして下さい。
- ※グンシツにおいてあるSDカードを使っただけであれば、データをお送りいただく必要はありません。

10machinakadesign@gmail.com

このルールはあくまで最初のキホンとなるものです。今後皆さんでグンシツを活用していく上で、必要に応じて改善・工夫しながら進めていけたらと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

m(-_-)m



◎今日の気になるあの人

「関口 美智江さん」

チャーミングな笑顔と明るい声で、みんなのアイドルみたいな美智江さん。
今日はその魅力の秘密に迫りたいと思います！

ぬくもりいっぱいの日町

まちなかステージとの出会いは、En+Designさんからのラブコール。

昨年12月、寒い、寒い、雪の中を歩いて参加しました。

「楽しい、人が集まるまちなかにしたいね」って、ポストイットを毎月貼りました。

楽しいまちづくりをするはずなのに、参加者がドンドン減っていく。

どうして？

わたしだってピンク・ブルーのポストイット飽きたよ！

でも、わたしには夢があります。

ひきこもりさんの社会的な居場所を中心市街地に欲しい。

彼らの居場所をつくるには、まず、私が日町市を知ること。

東京視察も行って来ました。

閉じられた空間でなく、開かれた空間での活動が印象的でした。

カッパ部・カタチ部・シクミ部???なあに?さっぱりわかんない。

スタジオレ・スタジオH5・En+Design???やっぱりわかんない。

でも、思ったのは

自分達の住む日町市です。昨年からは楽しい、ワイワイがやがやの何か起きそうな。

なんか不思議なのそしてドキドキの日町市の人任せでなくて、自分達がやりたいことをやってみようよ。

ひきこもりさんのまちなかステージ参画。

これってもしかして、ひきこもりさんの町おこし事業?

企画書を書いて、プレゼンして。採択されたのが

『サンタさんにお礼のメッセージカードを贈ろう』

東京視察で気になった、開かれた空間のがラス張り。パンシツ、びったり。

失敗したっていいじゃん。足りない部分はみんなで助け合って。

成功したらヤッター! みんなで喜ぼう。自らのポトムアップ。

牛乳パックの再生紙をチョキチョキ切って、

12色のリボン付けて、キラキラ貼って、20色カラフルデザインカード出来たよ。

毎年プレゼントを届けてくれるサンタさんに

ありがとう♥の、気持ちを届けよう。

そして

出来ることから、少しずつやって行けばいいじゃん。

いつだったかのポストイット貼りにありました、相乗りしちゃおうよ!



みち江さん

お互いがお互いの良いところを集めようよ。

足りない所はおぎなう。

ぬくもりいっぱいの日町。あったかい日町。思いやれる日町。みんなの目標はさまざまだろうけど、自分達の日町市、みんなが主役です。

日町市らしい、ぬくもりいっぱいの日町市を、子ども達にバトンタッチしようよ。

これからも、よろしく願いいたします。

美智江さん、ありがとうございましたー!

◎もとやまのひとりごと

先月のWS以降、「テラスどうなる!?!」「駐車場どうなる!?!」「このカッパウ、これからどこへ行くとしていっている!?!」...など、再び嵐にもまれておりました。WS参加者の皆さんの思いも市側の言っていることも、Studio-Lさんの言うことも、どれもわたしには「なるほどー!」と思えてしまいます。「誰もが真剣に、それぞれの立場と役割から、とおかまちのことを考えているんだなあ〜!すごいなあ〜!」と。

そんな中でわたしには何が出来る?何がしたい?と、振り返ってみました。わたしは、やっぱりどうも論理的に考えるのは苦手なのですが、それでも、まちなかステージづくりの活動はとてもおくおくします。WS参加者の皆さんとも、この1年でだいぶ顔見知りになりました。皆さんと鍋を囲んだり、まちなかでばったり会ってお話したりできるようになりました。皆さんがそれぞれ行っている活動を見て聞いて、興味の幅も広がってきました。問題が生じた時にも一致団結して話し合えるようになりました。

厚かましい言い方ですが、「友達増えた!」みたいな感じでとてもうれしくて楽しくて、ここに関わってよかったなあ〜と思うのです。

こんなノーツンキなもとやまですが、来年以降もどうぞよろしくお願いいたします m(_ _)m

それでは、今日はこのへんで...

第3号も最後までお読みくださり、ありがとうございました。

皆さま、よいお年を〜☆

En+Design 通信 第3号 発行日 2014.12.7

ゲスト : 関口 美智江さん

記事協力: 柳 大祐さん

編集担当: 本山 実里

